

OpuL

No.7

岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

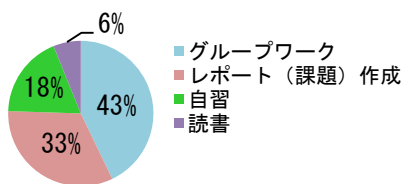


研究閲覧室

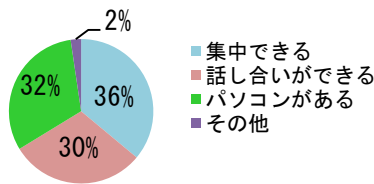
みなさん、「研究閲覧室」をご存じでしょうか？2階に3部屋あります。落ち着いて勉強したいときなどおススメですよ。

「研究閲覧室」—利用されている学生さんに聞きました—

Q:使用目的は？



Q:良いところは？



その他:一人で個室を1つ使用できるので勉強がはかどる、資料をすぐにとりにいける など。

Q:改善してほしいことは？

- (学生) マウスが動きにくい → (図) 交換しました。
- (学生) 他の部屋を利用している人の声が気になる
(図) 部屋は防音ではありません。一人ひとりが気をつけて利用してください。騒がしい場合はカウンターへ連絡をお願いします。
- (学生) パソコンを増やして欲しい
(図) カウンターでノートパソコンの貸出を行っています。(要学生証) 手続きを行ったのち館内のみ利用できます。
- (学生) イスを増やして欲しい・多人数対応の部屋にして欲しい
(図) 2人まで利用可能となっている部屋です。3人以上の場合はエントランスホールのグループワークデスクを利用してください。今後はグループでの利用も検討します。

集計期間 10/1~11/10

★研究閲覧室を利用するには★

- ①カウンターで申込をしましょう。(要学生証)
- ②指定された番号の部屋へ入室。
→ 利用開始 → 利用終了
- ③部屋を利用する前の状態に戻しましょう。
- ④利用が終わった事をカウンターへ報告。
おわり。



Contents

～図書の本～ 学部の教員 + 図書館長がすすめる 第3弾



一度は読んでもらいたい本

- ◆ 「研究閲覧室」 —利用されている学生さんに聞きました—
- ◆ 図書の本
- ◆ Design faculty lending ranking in 2010 —2010年度デザイン学部貸出ランキン—
- ◆ Science Direct —豆知識—
- ◆ 僕の感想 ～選書ツアー～



Pick Up

学部の教員 + 図書館長がすすめる 一度は読んでもらいたい本

第3弾

保健福祉学部

さかの じゅんこ
坂野 純子 先生

『生くる』・『友よ』

著 者：執行草舟
出版社：講談社



ご覧の通りの古風なタイトルと装丁のこれら2冊の本は、昨年12月に同時発売以降、新聞各紙・雑誌・ブログなどで幅広く取り上げられ、その地味な外見からは意外とも言える大きな反響を得ている。

著者は、佐賀藩士の子孫で祖父は大正・昭和天皇に仕えたというこれまた古風な経歴のもち主である。これらの本では、実業家であり歌人である著者が自身の人生を基に「自らの生命を燃焼させることこそが生きること」であると情熱的に語りかけてくる。

『生くる』では、「本物を大切に思う心を深く宿して、それでいて本物を求めぬ心を育成するところが、人生を豊かにする」「子に見返りとしての孝養を強制せぬから、子ども恩義を弁えぬ人間になってしまい、また何をしてよいのかわからぬ人間になってしまう」等、一見、ものが豊かな今の社会常識では意外とも思える、しかし、かつての日本人は確かにもっていた「時代に流されずこころの豊かさを追求して生きる人生哲学」が硬筆なタッチで書かれている。読みながら、久々に背筋が伸びるのを感じた本である。

情報工学部

ふくもと まさゆき
福本 昌之 先生

カウントダウン・ヒロシマ

著 者：スティーヴン・ウォーカー
出版社：早川書房



現代社会の中で科学技術の重要性を否定する人は変人扱いされるかもしれない。しかし、科学技術を相対化し、ときには批判的に捉える洞察力と思考力を持つことは、生活のすべてを科学技術に依存する時代だからこそ、必要なことではないだろうか。

3.11の大震災は、自然災害に屈した科学技術の限界を我々に感じさせたが、それ以上に科学者や技術者のもつ世界観も顕わにした。例えば原子力発電所の開発に携わった技術者たちは「あのような巨大津波は想定外だった」と語った。しかし果たしてそうなのだろうか？そもそも「技術は根本的には正しいものである」という前提は絶対に揺るがないのか？

本書は、第二次世界大戦末期に広島市に投下された原子爆弾の開発から投下に至るまでの一連の営み「マンハッタンプロジェクト」を克明に追ったものである。このプロジェクトは当時の最高水準の科学者・技術者を結集し2千万ドルの資金を投じて進められた。

凄惨・壮絶な被害をもたらした核兵器の使用は誰しも非人道的で許されないものだと感じるだろうが、その開発に関係した人々は必死になって「平和をもたらす技術」の開発に心血を注いでいたのだ。

著者はジャーナリストとして感情を抑え事実を淡々と記述しているので、歴史、政治、外交、軍事、医療、救援など様々な観点からも読める教養書として薦めたい。

附属図書館

たうち まさき
田内 雅規 館長

夢から発見へ

著者：ハンス・セリエ
発行：㈱ラティス



20世紀は様々な発明や発見によって、人類にとりそれまで以上に大きな変革があった世紀と言えるでしょう。変革は医学・生理学、心理学、物理学、天文学、科学技術分野等の多岐にわたり、挙げると切りがないほどです。その中でも1936年に医学・生理学の分野でハンス・セリエという生理学者によってストレスの概念が創られたことは忘れがたいがたい出来事の一つと言えるでしょう。

現在ではストレスという言葉や考え方は日常生活にまで深く浸透していますが、この発見がな

ければわれわれの人間理解は何十年も遅れていたかもしれません。その偉業でノーベルを受賞したと思っている方も多いのですが、実際のところそうはなりません。

彼の著書「夢から発見へ」は若い人にセリエ自身の研究の道程を辿りながら研究の仕方や真の面白さをリアルに伝えようとしたものです。ぜひ図書館で読んで頂き、ストレスへの理解を深めたり、セリエという人物に思いを馳せてみては如何でしょう。



Design faculty lending ranking in 2010

第1位 ノベルティグラフィックス

出版社：ピエ・ブックス



— 白井 沙季^{しらい さき}さんの感想 —

この本を初めて見つけたのは実は図書館ではなく友人の家でした。ちょうどその頃、パッケージの企画から作品制作までを行う授業を取っていたので“参考になる”と思い、友人が返却した後すぐに借りました。

実際に本屋やドラッグストアなどでもらったことのある販売促進アイテムがたくさん載っていたので、デザインに興味が無い人が見ても楽しめる本だと思いました。

右はその授業で作品をプレゼンするために制作した私の企画案です。



「そのまま種子栽培できる商品パッケージ」



第2位 ペーパーパッケージデザイン大全集：作例&展開図

出版社：ピエ・ブックス



— 片山 美穂^{かたやま みほ}さんの感想 —

この本に掲載されている作品は普段は目にしない面白い形のパッケージが多く、見ただけで“こんなものを贈ってみたい”とか“このパッケージはどこで売られているのかな”など、カタログのような感覚で見ても楽しめるものばかりです。私も最後まで見て、また始めに戻って…というように心がワクワクしながら何回も見ていました。

また、付属のCD-ROMにはこの面白い形のパッケージの展開図のデータが入っています。自分でマス目から大きさを図って図面に起こす必要もないので、絵をのせるだけで、誰でも簡単にパッケージが作れます。

パッケージの展開図だけでなく、写真から箱の表面のデザインも参考にできるので、パッケージを作ろうかなって思っている人にはおススメします。



第3位 ニホンゴロゴ ひらがなカタカナ漢字による様々な業種のロゴ

出版社：パイインターナショナル



— 岡城 美佳^{おかしろ みか}さんの感想 —

“カッコイイまたはオシャレなロゴはアルファベットのロゴ”と皆さんは思っていないでしょうか？その考えがこの本を読むことによって覆されます。日本語でもセンス溢れるロゴは作れるのです。ひらがな・カタカナ・漢字といった個性を持つ日本語だからこそ表現できるイメージの広さがあるのだ

と感じさせる一冊です。

また、この本は様々な業種に分けられてロゴが紹介されているので、異なるロゴの傾向を学ぶこともできます。手書き風からカッコリしたロゴまで、イメージを工夫して作られたロゴがたくさん掲載されており、勉強になります。



ロゴ作りに挑戦してみました

by図書館職員

今回は図書館イメージキャラクター「イスキーくん」のロゴ作りに挑戦してみました（右参照）。

彼のフルネームは「本多イスキー」、読み方は「ほんだ いすきー」。「図書館には本がたくさん+大好き♥」というダブルミーニングをパッと一目で伝えられるロゴを作ってみようと考えました。文字をパーツに分解したり形の共通点をさがしたり…。「これだ！」と思える素敵なロゴをつくるのは難しいな～と感じました。



↑「多」に注目





☑ 知っておくと便利な機能

- ★ Image 検索で図表の検索ができる。
- ★ Hubのページでは統合検索も可能で重複除去した結果を関連度順に表示できる。
- ★ PDF downloader で最大 20 件の論文（または抄録）を一括ダウンロードできる。
- ★ HTML 形式のテキストを使うとリンクが張ってあるので便利。

2011 年 6 月に 'エルゼビア公認 トレーナー' の瀧本まゆみさんを講師に迎え Science Direct 講習会を行いました。

☑ ワンポイント 雑誌名から論文を探すとき、利用可能かが一目でわかる方法！

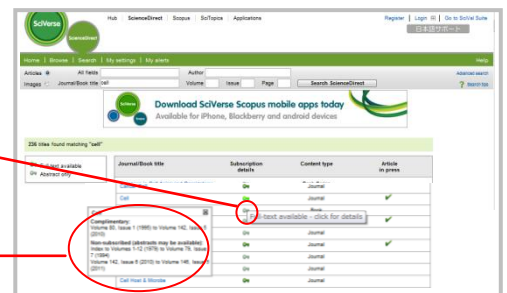
購読誌（フルテキスト利用可能）
非購読誌（抄録のみ）

◆ フルテキスト利用可能？それとも抄録のみ？利用可能な巻号は？



簡単に分かります ↓

緑の鍵をクリックしよう



Cell

Complimentary: → **フルテキスト利用可能**
Volume 80, Issue 1 (1995) to Volume 142, Issue 5 (2010)

Non-subscribed (abstracts may be available):
Index to Volumes 1-12 (1979) to Volume 79, Issue 7 (1994)
Volume 142, Issue 6 (2010) to Volume 146, Issue 6 (2011)

契約外のため、タイトル、著者名、抄録 (Abstract) の表示のみ

フルテキスト&抄録 利用可能情報が表示されます

緑の鍵マークは購読誌を意味しますが、

- ◆ 最新号が一定期間見られなくなっているもの
- ◆ 一部しかフルテキストで見ることができないものも含まれています。緑の鍵をクリックすることで利用可能情報が表示されます。

☑ オンライン講習会のお知らせ

初心者向けにはエルゼビア・ジャパン社のオンライン講習会が開かれています。詳しくは図書館カウンターでお尋ねください。

僕の感想 ～選書ツアー～



情報系工学研究科
人間情報システム工学専攻

まちだ ひろむ
町田 啓 さん

あなたの欲しい本、求める本は、図書館にありますか？



「ボールのひみつ」
請求記号 589.7/SH

日本では一日平均 200 冊もの新しい書籍が出版され、現在図書館には 20 万冊以上が所蔵されています。それだけたくさんの本があっても、十分ということはありません。最新の知識や技術、たくさんの情報を、本という媒体が発信しています。

学科や学部、そして大学にはどんなものが、またどんなものが不足しているか、ということを実際に考えながら、本を選ぶ機会が「選書ツアー」です。もしも、レポートや課題、研究を進めるに当たり、求める本が図書館にないと感じたなら、選書ツアーで新しい本に出会ってみてはいかがでしょうか？

「ボールのひみつ」は選書ツアー2011 に参加して選んだ本です。

この本を選んだ理由は…

スポーツ各種競技におけるボール球の歴史や変遷がまとめられていて、自分が経験したことのあるスポーツだけでなく、様々なスポーツに興味をわく内容であったためです。

皆さんも是非この本を手にとりいただけたらと思います。